

バローHD、コーナン提携

資本業務 ホームセンター強化

バローホールディングス(HD)とコーナン商事は13日、資本業務提携で基本合意したと発表した。コーナンが同日までに、バローHDの連結子会社でホームセンターバローを傘下に持つアレンザホールディングス(HD、福島市)への株式公開買い付け(TOB)実施を発表しており、提携の具体的な内容と契約締結はTOBの成立後に協議、交渉のうえ検討するとしている。

(松浦健司)

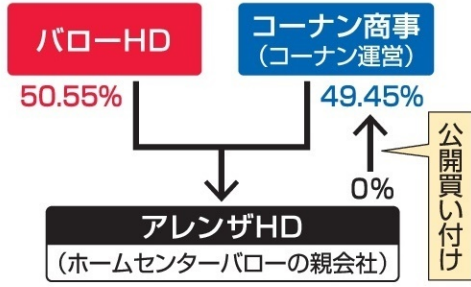
コーナンアレンザにTOB

3社の協業体制を構築し、経営規模の拡大を図る。規模の拡大に伴うスケールメリットの獲得、プライベ

ートブランド(PB)商品の相互供給で利益率の改善、物流拠点の相互活用などが想定される。

TOBは1株1465円で実施され、買い付け総額は約218億円。アレンザHDの株式は現在、バローHDが50・55%保有する。バローHDはTOBに応募せず、コーナンは残りの49・45%の株主らを対象にTOBを実施する。TOB期間は13日から3月30日まで。アレンザHDはTOBに賛同を示している。

TOBが成立した場合、アレンザHDは上場廃止と



TOBの構図



ホームセンターバロー領下店
岐阜市領下



コーナン岐阜店
岐阜市鶴田町

舗を持つっており、関西、首都圏、九州地方に強いコーナンと店舗網で重複が少なく、相乗効果を発揮しやすい環境にもなっている。

バローHDとコーナンは、23年から食品スーパーとコーナンの共同出店を3店舗で実施し、連携の取り組みは行っていた。

協業に向かう背景には、物価高に伴う買い控えや住宅着工数の減少に加え、デイスカウントストアや電子商取引(EC)との競争の激化で、ホームセンターバロー、コーナンともに既存店の来店客数が減少している事情がある。

アレンザHDの売上高1533億円(2025年2月期)とコーナンの売上高5014億円(同)を単純合算した場合、ホームセン

ター業界首位のカインズ、2位のDCMホールディングスの売上高を上回る。商品価格や商品開発力で優位性を持ちたいという狙いがある。

アレンザHDは、売上高に占めるPB商品の割合が16・5%と、コーナンの35・5%に比べて低く、コーナンからPB商品の供給とPBに関するノウハウの提供を受けることで、利益率の改善が期待できる。また、東北、中部、中国地方に店